

今年の冬もミュージアムは 講演・講座が目白押し

氏家喜連川歴史文化研究会では、今年度も当会ならではの多彩な事業を開催いたします。共にふるさとの歴史や文化を学びませんか。皆様の積極的なご参加をお待ちします。講演会・講座の開催場所はいずれもミュージアム、時間は13時30分～、参加費はいずれも無料です。

ふるさとの歴史・文化講演会

I 古代史講演会

塩屋(しほのや)と東山道の交通・流通

講師 国士舘大学教授 眞保昌弘氏
日時 2025年12月20日(土)

古代の交易において、東山道が通る河内郡・那須郡などとそれに接さない塩谷郡・芳賀郡の立場の違いはどうあったのか？ 塩谷郡の範囲およびその中心・郡役所の想定地はどこなのか？ など興味あるお話を伺います。

II 近世史講演会

五十里洪水と氏家地域の社会対応

講師 常磐大学教授 平野哲也氏
日時 2026年2月11日(水)

享保8(1723)年8月、4日間続いた豪雨で五十里湖が決壊、鬼怒川流域は未曾有の洪水に襲われた。氏家宿の被害状況は？ 宇都宮藩の対策は？ 人々はこの教訓をどう伝えたのか？ 今回は本県史上最大の自然災害についてです。

連続講座 新資料でたどる荒井寛方の生涯 (第17～19回)

寛方と濱田耕作(青陵)の 交流について

講師 荒井寛方研究会会員
中村強氏
日時 2025年11月22日(土)

若き日の寛方は美術誌『國華』で濱田耕作(青陵)とともに仕事をし、互いに影響を及ぼし合う仲だった。近代日本考古学創始者との知られざる交流を明らかにします。

寛方筆 《富岡製糸場行啓図》と その時代

講師 さくら市ミュージアム
副館長 大木礼子氏
日時 2025年12月13日(土)

明治神宮聖徳記念絵画館の壁画、寛方代表作の一つ《富岡製糸場行啓図》の制作の背景やその経過の詳細について紐解きます。

寛方「印度日誌」を読む

講師 氏家喜連川歴史文化研究会
会員 中野英男氏
日時 2026年2月7日(土)

寛方の渡印には、日本画の教授、アジャント壁画の模写、仏跡参拝の3つの目的があった。困難を顧みず精力的に活動して大きな成果を挙げ、また多くインド人から慕われた寛方の魅力を日誌から探ります。

史跡めぐり (詳細はハガキ、市広報でお知らせします)

第1回 那須のまほろばを歩く(那須小川古墳群を中心に)
日時 2025年10月23日(木) 午前8時30分
ミュージアム集合 昼食代他 1000円

第2回 喜連川を歩く(梅のお寺璉光院を中心に)
日時 2026年3月5日(木) 午前9時
喜連川もとゆ集合 参加費 無料



渡辺清絵日記を読む会

毎月第一土曜日13時30分～
場所 さくら市ミュージアム

明治・大正期の農村のくらしを貴重な絵日記を読み解きながら学びます。お気軽にご参加ください。

氏家喜連川歴史文化研究会

〒329-1311 栃木県さくら市氏家1297 さくら市ミュージアム内 ☎028-682-7123